

2012年度市予算へ

「476項目の要望書」を市長に提出

＝自然エネルギー促進のまちづくりを＝



「要望書」を市長に手渡す杉山団長。
左手前が上田さち子

八月三〇日市議団は、党地区委員会と連名で二〇一二年西宮市予算への「要望書」を、河野西宮市長に提出しました。
今回は、東日本大震災や原発事故を受け、津波対策など地域防災計画の抜本的見直し

日本共産党

上田さち子です



2011.9.4号

(発行)

日本共産党市会議員
上田さち子
川添町五・十八
電・三五―二八一三

H22年度決算収支

歳入総額	1602億3300万円
歳出総額	1563億3500万円
翌年繰越財源	3億1000万円
実質収支	35億8700万円

財政基金は104億円にも

西宮市の平成22年度決算概要が発表され、一般会計では、35億8700万円と32年連続黒字となりました。景気後退による個人市民税が20億円減となったものの、それを補てんする財源、地方交付税が約30億円増に。

支出では浜脇小学校など校舎改築終了などで大幅な黒字決算です。市民要求のために104億円となった財政基金を有効に使うべきです。



西宮市は三十二年連続黒字決算

や、福井原発を中止し、自然エネルギー促進をなどの項目も。また、依然として高い国保料の引き下げ、保育所待機児解消、市内業者の仕事おこしとして「住宅リフォーム助

成制度」創設をなど、市民のみなさんの願ひも多く盛り込まれました。これに市長は、「みなさんの声を真摯に受け止め、行政に反映させていきたい」とコメント。

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。
ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

市立中央病院移転・新築へ

林田町にある市立中央病院の移転新築問題が浮上しています。

昭和五〇年に開院して以来赤字経営で、一般会計からの補助が続いていますが、それに加えて施設の老朽化、など

から、①阪急西宮北口駅周辺に移転新築 ②ICUなども整備し、小児などの救急医療、がん診療、災害・感染症対策などに特化した病院に ③経営健全化への新たな病院運営体制を確立す

野田新首相は増税推進者

政権交代から丸2年。早くも3回目の代表選が行われ、野田氏を選出。「一体どうなるの、この国は！」と、多くの方が感じておられるのではないだろうか。国民目線から遠く離れ、政策なき代表選にうんざりだ。

「A級戦犯は戦争犯罪者ではない」と言った野田氏は、増税論者であることは知られている。来年度の予算編成に携わる西宮市の職員も、コロコロと首相が変わり、予測がつかないと嘆く。ましてや、消費税を10

%と大幅増税になれば大変。西宮の議会でも、増税反対の声を上げなければ。



移転新築の方向が出されている林田町の市立中央病院

ることを盛り込んだ有識者でつくる検討委員会が「中間報告」をまとめました。

黒字へ転換可能な「計画」へ

病院問題特別委員会の委員である私は、委員会で地域医

「議会改革」と言いながらやることは真逆

9月1日から、市役所内の議会への通路に「カギ」がかかり、市民や職員の自由な通行ができなくなりました。議会改革特別委員会で、「セキュリティが大事」と、日本共産党と無所属議員の一部の反対を押し切って多数で強行。開かれた議会どころか、ますます閉鎖的に。主人公であるべき市民の締め出しは許せないことです。

療や救急医療の拠点として、移転新築も視野に入れ、黒字経営となる市立病院は存続させるべきと主張。

「最終答申」を受け、年内にも市は方針を決定することにしています。